



眞子さんと

NY 小室佳代さん

強襲

上陸で

嫁姑戦争勃発

56



'22年12月中旬、佳代さんの自宅からスーツケースが運び出された

周囲が不安視する眞子さんと佳代さんの嫁姑関係。実はいま注目されている「妊活」も、さらなる関係悪化を招く可能性があるという。

'22年12月中旬、神奈川県内にあるマンション前に止まっていたのは赤い郵便車。ほどなくして郵便局員2人がカバンに包まれたスーツケースを積

んだ台車を押しながら現れた。彼らは緊張した様子だったが、実は局員たちは、小室圭さんの母・佳代さんの依頼で、スーツケ

ースを引き取りに来ていたのだ。かつて佳代さんと交流のあった人物はこう語る。

「佳代さんは金銭トラブルや親族とのトラブルが報じられてからは、近所の知人との交際も途絶え、自宅に籠りがちになっています。眞子さんとの結婚騒動で、日本中に顔が知れ渡ってしまいましたから、ごくたまに外出するときもかなり気を使っているようです。いまは仕事もしていませんし、一人で国内旅行を楽しむ、ということも考えにくいですね。」

ただ昔から彼女は息子のためであれば、とても積極的な行動をとるのです。圭さんが大学時代にアメリカに留学し、スペインに渡航したことがありましたが、そのとき佳代さんはスペインにまで圭さんに会いに行ったそうです」

すると本誌が目撃したスーツケース発送も、圭さんのいるNYへ渡航するため、事前に国内の空港に送っていたということなのだろうか。1年ほど前から、NY在住の○

NY在住の日本人ジャーナリストはこう語る。

「小室夫妻の渡米前に私が取材した不動産関係者は、佳代さん

◎日本人たちの間で、佳代さんの「米国上陸」の時期は注目され続けてきた。



交際していた影金師男性と破局したと報じられた

12月中旬、ドラッグストアで目撃された小室さん

はニューヨーク州内のNYに近い物件に住むことになりそうだと証言していました。小室さんは佳代さんとの同居を望んでいますが、眞子さんが新婚であること理由にして猛反対していたそうです。結局、小室さんが司法試験に落ちてしまったため、同居計画は白紙状態のままのようです。秋篠宮家に近い人物によれば、21年6月に佳代さんの告白が『週刊文春WOMAN 2021年夏号』に掲載されたことが、眞子さんが姑への不信感を強めるきっかけになったのだという。

前出の日本人ジャーナリストが続ける。

「眞子さんは、佳代さんの米国移住には断固反対だと聞いています。いつぼうで佳代さんは小室さんに、日本での生活の心細さを訴えていたそうです。眞子さんもさすがにNYで久しぶりに息子に会って、司法試験合格をねぎらいたい」という姑の願いまでは拒否できないのではないのでしょうか」

NYの小室圭さんは一人きりで買い物

実はスーツケース発送から数日後、小室さんがNYで買い物をする姿が目撃されている。

「小室さんは近所のドラッグストアやスーパーを自ら回っていたのですが、NYにやってくる佳代さんのために必要な日用品などを買集めていたのかもしれない」（前出・日本人ジャーナリスト）

日米の関係者間で不仲がささやかれる眞子さんと佳代さん。夫婦問題研究家の岡野あつきさんは、以前から小室家の嫁姑関係の悪化を懸念していたという。

「小室家には2つの特別な事情があります。1つは元内親王である眞子さんを嫁にむかえたという事実が佳代さん・圭さん親子にとってステータスシンボルになっているのではないかと、ということ。結婚にいたるまでは金銭トラブル

ルなども報じられ、佳代さん自身もパッシングを受けました。彼女からすれば「二人が結ばれるために自分も犠牲を払った」という気持ちもあるでしょう。その反動もあり、「私の面倒も見てほしい」と言いだしかねない心境にあると考えられます。

もう1つの事情は、佳代さんの言動から察するに、彼女が母親としての強い自負を抱いているということだ。

小室さんの父は02年に逝去し、佳代さんはシングルマザーとして息子を育て上げた。そして昨年10月に小室さんはニューヨーク州の司法試験に合格したのだ。

「圭さんも母親の期待に応えたいと願いながら頑張ってきたのだと思います。『いつか母に楽をさせてあげたい』という気持ちもあつたでしょうし、佳代さんも『恩返し』をまったく期待していないというのではないと思います。

私が相談を受けてきたケースのなかでも、一人で頑張つて育てた人ほど、のちに子供に経済的に依存する傾向が強かったです。

そして夫に依存する姑に、嫁が強い違和感を覚えることも多いのです」（岡野さん）

さらに嫁姑戦争が勃発しかねない「新たな危険」が浮上しているのだ。

現在、サポートするための女性

医師の存在など、眞子さんの妊娠についての報道が相次いでいる。

小室夫妻の知人によれば、

「より強く子供を望んでいるのは圭さんです。子供ができて、誰が見ても幸せな家庭を築くことで、結婚に反対した人々を見返すことができる、と考えているのでしょう。佳代さんにしても、天皇家につながりのある孫ができるわけですから、その誕生を一日千秋の思いで待っているようです」

しかし岡野さんは姑の干渉の危険性を指摘する。

「結婚して1年、まだ二人の時間を楽しみたい時期ですし、眞子さんも美術関係の仕事を始めたいばかりといえます。妊娠・出産が夫婦間の合意のうえであれば大丈夫だと思えますが、姑がそういったことに口をはさみ始めたために、嫁姑関係が悪化するというのは一般的にも非常に多いケースです。

特に小室夫妻の子供は、悠仁さまという『未来の天皇』のおい・めいにあたります。佳代さんが強く妊娠を勧めることで、眞子さんが小室親子による『結婚の正当化』に利用されているのではないかと不満を抱く可能性もあります」

眞子さんからすれば、『強襲』とも思えるであろう姑・佳代さんのNY上陸。12月下旬にNYは大寒波に見舞われたが、小室家の嫁姑関係も凍り続けているのか――。